

令和7年度 志賀町がん検診の内容・注意事項

胃がん検診 (バリウム検査)

検診バスに乗って受診します。バリウム(造影剤)を飲み、検査台の上で体の向きをかえながら胃部のエックス線撮影をし、胃の中を観察する検査です。胃がんは50歳代からかかる確率が増加し、我が国のがんによる死亡原因の上位に位置しています。

★ 注意事項 ★

- 検診前日の夜9時以降は飲食をせず、入れ歯安定剤の使用も止めておいてください。
- 検診当日は朝食・タバコ・アメ・ガム等も控えてください。
(検査1時間前までならコップ1杯(200ml)程度の水を飲まれても構いません。)
- 何らかの疾患をお持ちの人は、事前に主治医に胃バリウム検査受診の可・不可、検査当日の内服薬の服用等をご確認のうえで、慎重に受診をご検討ください。

※高血圧・心臓病など主治医から指示されている薬は、検査を受ける1時間前までにコップ1杯程度の水で内服してください。ただし、糖尿病で治療中の人は、検査当日の朝、糖尿病の薬の服用やインスリン注射をしないでください。内服薬の服用やインスリン注射に関しては、事前に主治医にご相談ください。

★ 胃バリウム検査による合併症および事故防止のため ★

下記に該当する人は胃バリウム検査を受けることができません。また、便秘症の人はバリウム検査後に便の排出が遅れることで腸閉塞や腸穿孔など重篤な合併症を起こす恐れがあるため、胃バリウム検査はお勧めできません。

- | | | | |
|---|-------------------------------|---|------------------------------|
| × | 検査前夜、9時以降に飲食した人 | × | バリウム製剤や下剤にアレルギーがある人 |
| × | 検査当日を含み3日以上便秘が続いている人 | × | 検査当日、糖尿病の薬を服用またはインスリン注射をした人 |
| × | 意思疎通が困難な人、寝返り回転が困難な人 | × | 透析中、慢性腎疾患、心疾患で水分制限がある人 |
| × | 日常的に食物や飲物が飲み込みにくく、むせやすい傾向にある人 | × | お腹の手術を1年以内にした人 |
| × | 体重が135kg以上ある人 | × | 腸閉塞、腸捻転の既往がある人 |
| | | × | 現在、消化管系の炎症性疾患・潰瘍性疾患の治療をしている人 |

胃がんリスク検査 (血液検査)

血液検査で、胃粘膜に生息するピロリ菌の感染の有無と、胃粘膜の萎縮度(ペプシノゲン判定)を調べて、胃がんなどの胃疾患にかかるリスクを判定します。胃がんそのものを発見する検査ではありません。

※胃バリウム検査か胃がんリスク検査のどちらかを選択して受診してください。

肺がん・結核検診 (胸部エックス線検査・喀痰検査)

検診バスに乗り、胸部のエックス線撮影を行う検査です。肺がんは死亡数が男女あわせて一番多いがんです。40歳以上の人は肺がんの早期発見、65歳以上(特に80歳以上)の人は結核の早期発見のために行います。喫煙(受動喫煙を含む)で肺がんリスクが高まるので注意が必要です。

※喀痰検査は問診の結果、必要と判断された人が対象となる痰の検査です(胸部エックス線検査必須)。

大腸がん検診（便潜血検査）

便に混じった目に見えない微量な血液を検出する検査です。食事制限もなく自宅で行える手軽な検査です。大腸がんは近年増加傾向にあり、40歳代後半からかかる人が増加し始め、高齢になるほどかかりやすくなります。

※令和7年度から、健康診査との同時受診で、町内医療機関でも受診ができるようになります。

- 検査容器をお渡しするので、自宅で2日分の便を採取し(集団検診:保健福祉センター、富来支所、医療機関検診(個別検診):受診医療機関へ)提出してください。
- 随時、保健福祉センター、富来支所で検査容器を発行します(6月4日～11月末まで)。
- 胃バリウム検査を受けた人は、1週間後から便を採取してください。
- 生理期間中の人は採便しないでください。

肝炎ウイルス検診（B型・C型肝炎ウイルス検査）

肝炎の早期発見・早期治療を目的に血液検査します。ウイルス感染に気づかず放置していると、命にかかわる肝硬変や肝がんなどに進行する可能性があります。少なくとも一生に一回は検査を受けましょう。

前立腺がん検診（血液検査）

血液中にある前立腺に特異的なタンパク質の一種「PSA」の値を測定します。前立腺がんは、男性のがんで50歳を過ぎると急増しています。健康診査との同時受診で、町内医療機関でも受診ができます。

子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診）

検診バスに乗って受診します。子宮頸部の細胞をとって調べる検査です。子宮頸がんは、20歳代後半から増え始め、30～40歳代で多く、近年増加傾向にあります。また、女性がんの中でもかかることが比較的多いがんです。

乳がん検診（マンモグラフィ検査）

検診バスに乗って乳房のエックス線撮影を行う検査です。乳がんは、20歳代後半から増え始め、40歳代以降多くなり、40～50歳代女性の死亡原因の上位に位置しています。

※令和7年度より40歳代は2方向、50歳以上は1方向の撮影を行います。

★ 注意事項 ★

【胃がん・肺がん・乳がん検診を受ける際】

- 当日の服装は、着脱しやすいもの、金属・プラスチック類(ボタン・ホック・ファスナー)やプリントのないものを準備いただくと便利です。
- 妊娠中、または妊娠の疑いがある人は受診できません(授乳中の人は要相談)。
- インスリンポンプ、持続グルコース測定器を装着している人は受診できません。

【検診バスに乗って受診をする検診】(胃がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん検診)

- 転倒など身体への危険が予想される場合は、医療機関検診(個別検診)をおすすめします。

検診の結果、精密検査が必要となった場合には、必ず精密検査を受診してください。検診はがん発見等に有効な検査ですが、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないことや、がんでなくても要精密検査と判定されることがあります。

【問い合わせ先】 志賀町保健福祉センター TEL0767-32-0339